

市議会だより



発行 伊東市議会 議長 土屋 進
編集 議会報編集委員会
伊東市議会事務局
電話32-1981(直通)FAX38-6916

大室山

伊東の味力 みりよく (その2)



伊東八景御膳
（春の膳）

A級グルメの文化を目指して
（活用と流通については今後検討）
（現在販売はしておりません）

表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 3月定例会の概要 【P.2】
- 代表質問（5議員が登壇） 【P.6】
- 一般質問（5議員が登壇） 【P.9】
- 常任委員会だより 【P.11】
- 特別委員会設置 【P.12】

市議会会議録は、市役所、図書館、
各コミュニティセンターにあるほか、
ホームページでもごらんになれます。
（3月定例会会議録は、5月下旬
発行・公開の予定です）

平成24年3月定例会

平成24年度一般会計を賛成多数で可決！
8 特別会計、2 企業会計についても可決

3月定例会を2月23日から3月22日までの29日間の会期で開会しました。

市長施政方針 (要旨)

私は、市長就任以来、「伊東再生」から「伊東創造」に向け、全身全霊をささげ邁進し、市民の立場に立ったまちづくりに取り組みでまいりました。

「伊東再生」から「伊東創造」に向け、全身全霊をささげ邁進し、市民の立場に立ったまちづくりに取り組みでまいりました。

新年度は、「元点改基

という8K 健康共成」を合い言葉に掲げ、市民の皆様とともに市政を熟成させ、「夢と希望の実現」を目指してまいります。

特に、新市民病院は平成二五年春の開院に向け準備を進め、また、環境美化センターの焼却炉整備事業は本年度から建設工事に着手し、平成二六年度末の完成を目指すとともに、伊豆半島ジオパーク構想の推進や新たな魅力の創出による観光誘客にも引き続き努めてまいります。

市民の安全安心を守る危機管理については、さらなる危機意識の高揚や防災力向上に努め、あらゆる危機事象に迅速に対応するため、危機

対策課を新設いたします。

また、簡素で効率的な行政運営を推進するため、新たな「行財政改革大綱」を策定するとともに、「PDCAマネジメントサイクル」による行政評価システムを運用し、事務事業の「選択と集中」をより一層推進しつつ、多種多様な行政課題に対し、柔軟かつ迅速に対応できる機動的な組織体制の確立を図ってまいります。

本年は「伊東創造」に向けての集大成の年であると同時に、地域主権改革など地方においては大きな変革期に当たる年であると考えております。

第四次総合計画に掲げる「ずっと住みたい また来たい 健康保養都市 いうの」の実現に向け、「知恵と工夫」を凝らし、これまで以上に「スピード感」を持ち、熱い情熱で誠心誠意取り組んでまいります。

※元点改基 いう8K 健康共成=「伊東創造」の集大成を目指し、初心に戻り改めて基礎(土台)の強化を図る。健やかに8Kを磨き上げ(健康)市民とともに市政の熟成を目指す。

■平成24年度各会計予算

◎=全会一致で可決、○=賛成多数で可決 (単位:千円、%)

区 分	当初予算額	前年度対比	審議結果	
一 般 会 計	22,050,000	96.4	○	
特 別 会 計	下 水 道 事 業	1,992,000	93.4	◎
	競 輪 事 業	13,219,000	96.6	◎
	国民健康保険事業	10,282,000	101.3	◎
	土 地 取 得	31,560	20.9	◎
	霊 園 事 業	62,220	50.9	◎
	介 護 保 険 事 業	5,872,507	108.1	◎
	介 護 老 人 保 健 施 設	85,700	100.0	◎
	後 期 高 齢 者 医 療	1,542,482	108.6	◎
	病 院 事 業 会 計	4,110,012	198.8	◎
水 道 事 業 会 計	2,737,512	97.0	◎	
合 計	61,984,973	101.7	—	

※病院事業会計及び水道事業会計については、収益的支出額と資本的支出額の合計額

■主な新規事業 (全体では72の新規事業があります。)(千円)

○いとう創造大賞事業	110
○ヨーロッパ友好都市訪問事業	2,570
○同報無線屋外受信設備設置事業	3,000
○太陽光発電システム設置費補助事業	3,000
○在宅高齢者緊急入所等措置事業	2,000
○小規模特別養護老人ホーム整備費補助事業	40,000
○がん検診推進事業	17,438
○誘客対策促進補助事業	6,000
○さくらの里整備事業	15,000
○ジオパーク推進事業	7,850
○地産地消推進事業	1,000
○商業パワー全開補助事業	3,000
○芹田・大原線道路改良事業	24,000
○都市計画基本図作成事業	25,000
○中心市街地案内サイン整備事業	9,000
○普通消防ポンプ自動車購入事業	63,000
○耐震性貯水槽建設事業	13,000
○伊豆栄光湯川保育園措置委託及び運営補助事業	119,469
○通級指導教室支援事業	840
○富戸の魚見小屋改修事業	2,000

本会議で
行つた討論
(概要)

■伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

《反対》重岡秀子議員

被災地域に係る課税の特例措置の延長や、雑損控除等に係る災害関連支出の対象期間の延長など、被災者にとつて利益となる改正もあり、すべてに反対ではないが、目的も明確にされない個人市民税の引き上げについては認められない。
東日本大震災と原発事故による経済的な影響は、伊東の観光にも及んでおり、かかる状況下での増税には賛同できず、反対する。

■伊東市介護保険条例の一部を改正する条例

《反対》重岡秀子議員

今回の改定は、基準額である月額三五〇〇円を二六年度には月額四九〇〇円に率にして四〇%、月一四〇〇円もアップする大変大幅な値上げ案である。

値上げを食いとめる抜本的な手だてがないという実

態も承知するが、このままでは今後も介護保険料の値上げが続いていくことは必ずであり、介護保険制度の抜本的な改革を国に要望することも含め、反対する。

《賛成》正風改革クラブ

平成一二年度にスタートした介護保険制度導入以来初の手法として段階的な値上げ案となっており、据え置かれた前回と異なり、諮問委員会などを経た改正内容で、市民の大方の理解を得られるものと思料する。

さらに、今回の改正により、第五期において施設整備が進み、市民生活に安心感が生まれるとともに、雇用の創出など景気対策の面からも賛成する。

■伊東市祝金条例の一部を改正する条例

《反対》重岡秀子議員

平成二六年度からは住民税増となるなど、年金の手取り額は減少傾向にある。

また、限られた年金でぎりぎりの生活をし、介護サービスを使いたくても一割負担さえも払えず、サービ

スを使えない方もおられるなど、高齢者をめぐる環境が厳しさを増す中で、具体的な高齢者への対策が十分に講じられないまま、祝い金まで縮小されることは到底認められず、反対する。

■伊東市自転車競走実施条例の一部を改正する条例

《反対》森篤議員

条例改正の趣旨につき当初の説明と市長答弁とに相違がある旨指摘したが、答弁を撤回せず、事務的ミスとして当初の説明を修正した。趣旨を修正するならば

例を出し直すべきであり反対する。指摘されるまでミスに気づかないのは、伊東市の組織としての品質劣化である。市長答弁を優先し、議会上程までの経過を修正したのであれば、これも同様であり猛省を促す。

■平成二四年度伊東市一般会計予算

《賛成》森篤議員

予算執行に当たつて留意すべきことは、施策目的を市民にわかりやすく説明すること。福島原発事故を教

訓として、国民保護計画も念頭に置き、放射能災害に対する備えをすること。

利を追って奔走する社会ではなく、義を行ひ徳や礼節を重んじることが大事。利は後からついてくるものであり、予算書の数字の外にこそ、自治体経営の極意がある。市民一丸となつて伊東市経営が行われることを期待し、賛成する。

《賛成》伊東元気の会

新年度予算案からは、戦略性や計画的集中投資が感じられず、過去からの追認型予算編成となっており、行財政改革についても真の改革は進んでいないと感じている。

しかしながら、新年度の市政運営は、施政方針に基づき、しっかりと市民生活に目を向け、伊東の未来に必要な投資を行い、市民の納得する行財政改革の推進に傾注されるなど、市民生活向上のためご尽力いただくことを要望し、賛成する。

《反対》重岡秀子議員

ミニ特養への補助や子供

の医療費助成の拡充など、これまでの懸案事項への新規予算措置等は評価するものの、市内経済の活性化、雇用の確保、市税増収の最大のかぎとなる観光商工費には、戦略が見えない。

また、本市の未来を担う子供たちに対する教育予算は、優先的に確保すべきであると考え。

特に中学校給食の全校実施や学校図書館司書の配置などは、早急な対応が必要と考え、反対する。

《賛成》公明党

伊東市システムの運営などによる行政評価システムの運用により、事務事業の整理・合理化が着実に推進されていると考える。

市税収入が落ち込む中であつて、医療、保健、福祉子育て支援、市内経済活性化、観光・災害対策、耐震化工事等への積極的な取り組みについて高く評価する。さらに、新市民病院の役割に期待するものである。

掲げられた一つ一つの事業が市民生活に寄与される

ことを願ひ、賛成する。

《賛成》 堀川武義議員

市内のあらゆる産業が大変な苦戦を強いられている中、市の財政状況は各基金の増額を初めとし、大幅に改善されており、思いきつた経済対策をより重点的に行う必要性を感じている。

また、庁内禁煙の件も含め、真に健康づくりを推進し、国際観光温泉文化都市として、来遊客の大幅な増加を目指していただきたい。

さらに、市長には、今後全会一致による議決が得られる予算編成がされることを求め、賛成する。

《賛成》 正風改革クラブ

行財政改革の取り組みを継続し、市政運営に当たっては現場主義の視点で市民の行政ニーズを的確にとらえ、着実に実績と成果を上げていく点は高く評価する。最近では、地方自治体が国の施策に振り回される場面が多く見られるが、五年先、一〇年先の本市全体の具体的な財政状況を見据え、ぶれないリーダーシップを

発揮され、市民生活と福祉の向上、観光などの産業振興を図られることを要望し、賛成する。



平成24年度
一般会計予算 起立採決

■ 公的年金支給減額に反対する意見書採択を求める陳情

《採択に賛成》 重岡秀子議員

国は物価スライドによる年金減額を決めているが、物価下落の原因はテレビ、パソコンなどであり、食料品費などは〇・八%の下落ではない。また、介護保険料などの値上げは算定されず、実質的には年金の手取り額は下がり続けている。年金の減額は、観光地伊東温泉にとっても打撃となることは必至であり、本陳情の採択に賛成する。

■ 中部電力浜岡原子力発電所の廃炉を求める意見書採択を求める陳情

《採択に反対》 森篤議員

本件審議は、陳情の文案の可否を判断することだが、いくつかの部分で適当ではない。浜岡原発の安全対策は重大であり、最善の策は廃炉であり、改善の策としては、安全性を確保し、伊東市民を含む住民の理解を得た後に原発運転の是非を判断することである。本件陳情には反対するが、この私の思いに陳情の趣旨が含まれていれば幸いである。

《採択に賛成》 重岡秀子議員

原発は事故がなくても使用済み核燃料や原発労働者の被曝の問題など、命の軽視と子孫への苦勞を残すものである。特に、浜岡原発は東海地震の想定震源地内に位置し、巨大原発でもあることから、廃炉しかないと考え、本陳情の採択に賛成する。しかし、最低限一致できるものとして議員発議による意見書には合意する。

市議会3月定例会で審議した議案等

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市議第30号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	地方税法の一部改正に伴い、個人市民税において、退職所得の分離課税における所得割に係る10%の税額控除の廃止、均等割に関し、平成26年度から平成35年度までの間、500円の引き上げ等の条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第31号	伊東市手数料徴収条例の一部を改正する条例	建築基準法の改正に伴い、事務量が増加した建築確認、中間検査、完了検査に係る申請手数料を改正するための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第32号	伊東市介護保険条例の一部を改正する条例	平成24年度から平成26年度までの第5期介護保険事業計画期間における介護保険料に関し、給付費の増加にあわせて、保険料の上昇幅が大きくなるため、段階的な引き上げを実施するとともに、負担能力に応じた保険料額とするため、徴収区分を10段階とするための条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第33号	伊東市祝金条例の一部を改正する条例	高齢化の進展、高齢者の増加に伴い、古稀（70歳）、喜寿（77歳）、百歳祝金を廃止し、米寿（88歳）と白寿（99歳）の2種類を長寿祝金とするための条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第34号	伊東市自転車競走実施条例の一部を改正する条例	震災等災害により伊東温泉競輪場が使用できない場合などに備え、他の競輪場における開催を可能とするための条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第35号	伊東市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（いわゆる第2次一括法）により、市が設置する一般廃棄物処理施設に置く技術管理者の資格要件を、市条例で定めるものとなったことに伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第36号	伊東市下水道条例の一部を改正する条例	第2次一括法により、公共下水道の構造基準、終末処理場の維持管理に関する基準等を、市条例で定めるものとなったことに伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第37号	伊東市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（こちらは第1次一括法）により、市営住宅の入居に関し、同居親族要件や入居収入基準を、市条例で定めるものとなったことなどに伴う条例改正	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第38号	伊東市水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例	第2次一括法により、水道布設工事監督者を配置する工事の基準、監督者の資格基準等について、市条例で定めるものとなったことに伴う条例制定	市長	全会一致で可決
市議第39号	伊東市生涯学習センター条例の一部を改正する条例	第2次一括法により、公民館運営審議会委員の委嘱基準について、市条例で定めるものとなったことに伴う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第40号	南中学校校舎耐震補強工事請負契約の一部変更について	国の第三次補正予算に計上された、より有利な補助制度を活用し、新たに屋上防水工、消防設備工等が補助対象となることから、平成23年度伊東市一般会計補正予算（第6号）において増額補正を行うとともに、工事請負金額の変更 変更前契約金額：2億7,825万円 変更後契約金額：3億2,006万1,000円	市長	全会一致で可決
市議第41号	平成23年度伊東市一般会計補正予算（第6号）	平成23年度基礎年金拠出に係る公的負担比率の改定に伴う地方公務員共済組合負担金の追加、人件費の整理、各種事務経費の整理を行うとともに、重度障害者医療費助成費、母子家庭等医療費助成費などの扶助費の追加、各特別会計への繰入金金の増減、国の補正予算を活用した南中学校校舎等耐震補強工事や環境美化センター更新改良整備工事請負費の追加、さらに、財政調整基金を活用し、切れ目のない市内経済対策事業として住宅リフォーム振興事業補助金を計上するとともに、公共施設等の小規模修繕などを実施するため緊急経済雇用対策事業費の追加など、6億8,622万4,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第42号	平成23年度伊東市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	歳出では国庫支出金の減額に伴って、補助事業等を縮小したことによる公共下水道建設費の減額など、歳入では東日本大震災の影響による下水道使用料を減額するとともに、国庫支出金や市債の減額のほか、下水道使用料の減少に伴う財源措置として一般会計繰入金金の追加など、7,345万4,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第43号	平成23年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第2号）	平成24年3月28日から30日までの間、開催予定の日韓対抗競輪において、所要の経費が不足する見込みであることから、歳出では勝者投票払戻金を初めとした開催経費の追加、歳入では車券売上金を計上し、13億3,226万8,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第44号	平成23年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	歳入では不足が見込まれる一般被保険者療養給付費や一般被保険者高額療養費等を追加するとともに、各種事務経費の整理、歳入では療養給付費に対する国庫支出金、一般会計繰入金、保険給付等支払準備基金繰入金の追加など、2億9,044万2,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第45号	平成23年度伊東市霊園事業特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出において、増・減額別の組み替えを行うものであり、予算現額に変更はない。平成23年度に新たに建設した芝生墓所等が、当初の見込みを上回って売却できたことから、墓所使用料を増額する一方、一般会計繰入金を減額するもの	市長	全会一致で可決
市議第46号	平成23年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	歳入において、調整交付金の減額分を基金繰入金により補てんするため、歳出では保険給付費の財源振りかえを行うほか、総務費における各種事務経費の減額整理に伴う、一般会計繰入金金の事務費繰入金金の減額など878万2,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第47号	平成23年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	歳出では広域連合納付金のうち後期高齢者医療保険基盤安定負担金を追加するとともに、各種事務経費の整理、歳入では後期高齢者医療広域連合負担金の減額、歳出の増額に伴う一般会計繰入金金の増額など、657万8,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第48号	平成23年度伊東市病院事業会計補正予算（第1号）	収益的収入は281万円、収益的支出は961万8,000円の減額、資本的収入は3億2,285万円、資本的支出は3億2,246万9,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第49号	平成23年度伊東市水道事業会計補正予算（第3号）	収益的収入は3,054万7,000円、収益的支出は3,760万6,000円の減額、資本的収入は239万8,000円の追加、資本的支出は9,835万8,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第50号 ～市議第60号	平成24年度伊東市一般会計予算、以下、8特別会計と2企業会計	※予算の概要については、2ページをごらんください。	市長	※2ページをごらんください。
発議第12号	伊東市議会委員会条例の一部を改正する条例	平成24年4月1日に施行される機構改革に伴い、常任福祉文教委員会所管部である保健福祉部を健康福祉部に名称変更するための条例改正	議員 8名	全会一致で可決
発議第13号	浜岡原発に係る廃炉を含む抜本的な事故防止の方策を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、原発事故の収束及び再発防止担当大臣、原子力経済被害担当大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 8名	全会一致で可決
発議第14号	議会改革特別委員会設置について	※特別委員会の概要は、12ページをごらんください。	議員 8名	全会一致で可決
発議第15号	一般用医薬品のインターネット等販売の規制緩和に慎重を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 8名	全会一致で可決
発議第16号	戸別所得補償制度の見直し等、農業政策の立て直しを求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、国家戦略担当大臣、内閣官房長官、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 8名	全会一致で可決
発議第17号	基礎自治体への円滑な権限移譲に向けた支援策の充実を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣（地域主権推進）、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 8名	全会一致で可決
発議第18号	若者雇用をめぐるミスマッチ解消を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、文部科学大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 8名	全会一致で可決
発議第19号	父子家庭支援策の拡充を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣（男女共同参画）、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 8名	全会一致で可決
発議第20号	こころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 8名	全会一致で可決
発議第21号	東京電力の電気料金値上げに反対する意見書	内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 8名	全会一致で可決
陳情第8号	公的年金支給減額に反対する意見書採択を求める陳情	陳情者：全日本年金者組合伊東支部 支部長 平井泰世氏		不採択とすべしとした委員会報告のとおり賛成多数で不採択
陳情第9号	東京電力の電気料金値上げに反対する意見書採択を求める陳情	陳情者：一般社団法人 伊東観光協会 会長 石井文弥氏		採択すべしとした委員会報告のとおり全会一致で採択
陳情第11号	中部電力浜岡原子力発電所の廃炉を求める意見書採択を求める陳情	陳情者：平田大海氏		不採択とすべしとした委員会報告のとおり賛成多数で不採択

代表質問

平成24年度 各会計予算及び市長の政治姿勢について
(全会派から) 5 議員が登壇 (登壇順に掲載)

市税の積算、滞納徴収計画、市債の償還見込み、公債費比率の見込みについて伺う



正風改革クラブ
宮崎雅薫議員

一般会計の自主財源比率は年々低下し、財政基盤が弱体化しているが、市税積算に当たり、市内経済状況をどのように把握し、反映したか。

また、市税の公平負担等の観点から、市税滞納繰越分の徴収計画について伺うとともに、収納課内に滞納整理専門部署を設置すべきと考えるが、いかがか。

さらに、環境美化センター更新改良整備などの大型事業実施に伴う市債残高の推移、償還及び公債費比率の見込みについて伺う。

市内経済の状況を考慮し対前年度比三・九%減の市税を見込んだ

市長

震災の影響等により、不況が続いており、市税は対前年度比三・九%減とした。市税の徴収に当たっては、口座振替やコンビニ収納の利用促進、あるいは、「静岡地方税滞納整理機構」への債権移管により、滞納圧縮に一定の成果を上げている。滞納整理専門部署の設置については、収納課がその役割を果たしており、徴収員による収納強化を図るなど、実効性のある徴収体制の充実を図っていく。

環境美化センター更新改良整備事業において、約二億六五〇〇万円の起債を見込み、十年間で償還していくが、実質公債費比率は、九%台後半から十一%程度で健全に推移していく見込みである。

『その他の質問項目』

■観光や中小売業のイベント施策について 二点

■各種手当の見直しや定年延長などの導入について 二点

■生活保護世帯の現状や就

労支援の状況について 二点

■幼稚園、小・中学校の修繕要望や学区の見直しについて 二点



庁舎高層棟2階に移転した収納課

平成二四年度予算編成に際し、大規模事業所の電気料金値上げに対する影響をどのように考えているか、また、代替エネルギーの積極的な検討について伺う



公明党
鳥居康子議員

平成二四年一月に、東京電力株式会社から、四月一日以降の電気料金値上げが発表され、市内経済も大き

な影響を受けると懸念するが、本市の考えを伺う。

また、東日本大震災の影響を踏まえ、代替エネルギー導入へ向けた検討が必要であると考えますが、新年度に県事業として取り組まれる奥野ダムの小水力発電も含め、本市の代替エネルギーへの取り組みをどのように検討されているか伺う。

使用量を減らすことで、影響を最小限に食いとめる

市長

電気料金値上げによる本市の全施設における増額分は、平成二三年の電力使用実績をもとに積算すると四七八〇万円となるが、使用量を減らすことで、その影響を最小限に食いとめるべく、節電対策会議を開催するなどして、各課・各施設に対し、より一層の節電を指示したところである。

代替エネルギーの検討については、これまでに南中学校に太陽光発電システムを設置したほか、静岡県においては、奥野ダムを活用



奥野ダム

した小水力発電の事業化が進められている。

また、個人住宅において太陽光発電システムを設置する方に対し、費用の一部を補助するなど、化石燃料に依存しない再生可能エネルギーの普及に努めている。

『その他の質問項目』

■平成二四年度予算編成について

- ・市内経済状況等をどのように判断し、歳入・歳出を組み立てたか
- ・市民との協働の観点から、地域・市民の力のさらなる活用について
- ・東北地方復興の課題である「瓦れき広域処理」の受け入れについて

伊豆半島ジオパークを推進する一環として、原動機付自転車のオリジナルナンバープレートの導入について、また、南部地域における新たな公共交通システムの可能性について



民主党・刷新の会
鈴木克政議員

伊豆半島ジオパークを推進する上で、さまざまな方法を駆使して、住民意識を高めるための普及活動をすべきであると考えます。

普及活動の一策として、原動機付自転車のオリジナルナンバープレートの導入を伊豆半島全域で実施すれば、導入に係る各市町の負担は減り、費用対効果も高まると考えるが、いかがか。

また、富士宮市で高評価を得ている会員制デマンド型乗合タクシーのように、南部地域における新たな交通システムの可能性について

て伺う。

オリジナルナンバープレートの導入は、今後の検討課題として、また、南部地域の特性に応じ、新たな公共交通システムについて調査、研究をしていく

市長

オリジナルナンバープレートの導入は、伊豆が一つになり、ジオパーク推進の手段の一つであるが、今後の検討課題としたい。

住民の日常生活を支え、観光客の利用も考慮しながら、地域の特性に応じた利便性と持続性を備えた新たな公共交通システムについて、調査、研究をしていく。

『その他の質問項目』

■二四年度予算編成に係る市長の政治姿勢 四点

■伊豆半島ジオパーク構想について ほか三点

■インバウンド事業の実績と今後の見通し及び地域ホームページにおける外国語の対応について

■商工業の振興に関する成

果をいかなる数値で検証したか

■有害鳥獣被害への対応策について

■消防救急広域化の進捗状況と今後の予定について



御殿場市の
富士山型ナンバープレート

新年度一般会計予算において、最も配慮した事項及び今後の市政運営について



輝21
三枝誠次議員

昨年度比八億三〇〇万円の減額とした平成二四年度一般会計当初予算の歳出において、最も配慮した事項は何か。

また、最近の傾向として

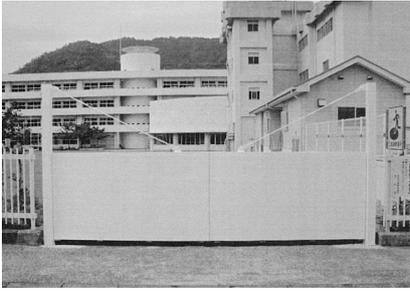
年度当初の景気・経済対策を重視し、前年度末の三月補正において繰越明許費等の予算措置がされているが、今後このような姿勢で市政運営が図られていくのかを伺う。

市民の生命・財産・健康を守る施策、市内経済活性化策に重点を置き、配分した

市長

新年度一般会計予算は、市税が大幅に減少する中で、生活保護費等の扶助費とともに、国民健康保険事業特別会計等への繰り出しなどの社会保障関係経費の増加が見込まれたものの、少子高齢社会の進行や疲弊した市内経済などの厳しい状況から、市民の生命や財産、健康を守る施策や市内経済の活性化を図る施策に重点的に予算を配分したものである。

また、市が発注する工事等は、年度当初に発注量が減る傾向にあることから、経済対策を切れ目なく、効果的に実施するためには、



緊急経済雇用対策事業として設置された
宇佐美小学校の門扉

繰越明許費等の措置を通じて、できるだけ早く着手する方法が有効であると認識し、今後も、市内経済の状況や、市の財政状況等を勘案する中で、柔軟かつ積極的に対応していく。

『その他の質問項目』

■新年度予算に関して

- ・ 市税の代替となる財源の発掘について
- ・ 市民病院等の起債償還に伴う財政構造への影響について
- ・ 緊急経済雇用対策事業の分析、評価について

■市長の政治姿勢に関して

- ・ 首長と教育委員会とのかわりについて
- ・ 職員の配置と養成について

まちづくりの観点から、小・中学校の統廃合について協議をしてはいかがか



伊東元気の会
杉本一彦議員

本市の小・中学校の児童・生徒数は年々減少し、現在ではピーク時と比べ約半数となっている。そのような教育環境においては、児童・生徒数の少ない学校での教育水準の保持や子供同士のコミュニケーションの平等性等々に問題が生ずることが考えられる。

そこで、本市の都市計画マスタープランにおける地区別構想・地域とのかかわりや新しい伊東のまちづくりの観点から、小・中学校の統廃合の協議を開始すべきと考えるが、いかがか。

児童・生徒数、施設環境などを見通し、長期的な展望を持って進めたい

教育長

学校や公共施設等は、まちづくりの観点からその位置づけは重要であると認識している。特に学校は、これまでの地域とのかかわりや歴史等を考えると、その統廃合は、本市にとっても影響のある大きな課題であると思われる。

そのため、小・中学校の統廃合については、まず、健全な教育環境の確保に努め、将来の児童・生徒数、施設環境などを見通し、長期的な展望を持って、積極的に検討を進めていかなければならないと考えている。

『その他の質問項目』

■市内経済活性化政策による市内経済への効果について

■平成二四年度予算に関して

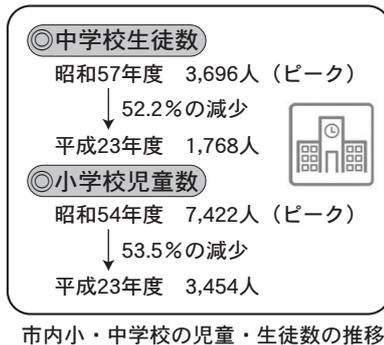
- ・ 観光施策に関して、将来を見据えた観光戦略について
- ・ 都市計画に関して、市民の声の反映方法について
- ・ ほか二点

教育行政に関し、市政における「教育」の位置づ

けについて ほか一点

■県内産品への放射能汚染及び瓦れき受け入れ等、放射能汚染問題について

■病院建設に伴う市内への経済波及効果について



閉会中の議会活動

平成23年12月定例会閉会後
平成24年3月定例会開会まで

平成23年

- 12月15日 常任観光建設委員会懇談会
(伊豆半島ジオパーク推進協議議会事務局)
- 19日 常任観光建設委員会所管事務調査
(海から見るジオサイト城ヶ崎編)

平成24年

- 1月 6日 議会報編集委員会
- 27日 常任観光建設委員会協議会
- 2月 9日 常任福祉文教委員会協議会
- 17日 議会運営委員会
- 20日 初当選議員研修会

参加議員



初当選議員研修会の様子

- 長沢 正 議員
- 杉本 一彦 議員
- 佐山 正 議員
- 浜田修一郎 議員

初当選議員研修会

平成二四年二月二〇日(月)

一 般 質 問

5 議員が登壇/市政全般について質問

(登壇順に掲載)

伊豆半島ジオパークの推進を学校教育に生かす考えはあるか



正風改革クラブ
西島 彰 議員

郷土伊東の歴史文化に触れる学習機会等の中で、外から転入された方から、伊東のことを教えていただくことも多々あり、伊東の人が郷土伊東のことをよく知っているとは限らない。

子供のころから郷土の自慢を知り、五感に響く体感をする中で、郷土に愛着を持つ人に成長するのではないかと考えるが、ジオパークの推進を学校教育に生かし、授業に取り入れる考えがあるか伺う。

伊豆半島ジオパーク推進協議会とさらに連携を深め、授業に生かしていきたい

教育長

伊豆半島が、地質的・地

形的に非常に重要な場所であることを、私たち自身が実感し、子供たちにも伝えていかなければならないと考えている。

地域を学ぶ学習として既に取り組んでいる学校もあるが、今後、伊豆半島ジオパーク推進協議会とさらに連携を深め、社会や理科、総合的な学習の時間などに生かしていきたい。

『その他の質問項目』

■観光政策に関し、観光動態統計調査の結果が観光推進事業の策定にどのように生かしているかについて

■伊豆半島ジオパークの推進に関し、市内観光経済の振興にどのように活用していくかについて

ほか二点



伊豆半島ジオサイト旭滝でガイドを行う伊豆総合高校自然科学部の生徒

東日本大震災被災地の瓦れき受け入れに関する考えについて伺う



民主党・刷新の会
四宮和彦 議員

東日本大震災により発生した災害廃棄物は、約二二〇〇万t以上にも達した。

この処理に関し、静岡県では受け入れを表明したが、最終的には各自治体の判断にゆだねられており、受け入れに関しては、データ等をそろえ、その安全性を正確に市民に伝えることが必要不可欠であると考えている。

瓦れき処理のおくれが復興の足かせとなつてのこととは、だれもが認識していることから、瓦れき受け入れに関する本市としての考えについて伺う。

県の全体計画を踏まえ、市民の理解を得た上で、判断

していきたい

市長

東日本大震災により発生した災害廃棄物の受け入れに当たっては、市町の実情に応じた試験焼却に係る県全体の計画が、この三月末を目前に示される予定である。

本市においては、先行する島田市における試験焼却の結果が三月二四日に公表されることから、県がとりまとめる全体計画を踏まえ、安全性を確認する中で、市民の理解を得た上で、処理余力等を勘案し判断していきたい。

『その他の質問項目』

■伊東市議会のインターネット中継について、本市の考えを伺う



東日本大震災による瓦れき (大槌町)

BCP（事業継続計画）
策定への支援について伺う



公明党
長 沢 正 議員

現在、BCPは、官民、産業分野を問わず、あらゆる種類の組織に対応した事業継続マネジメントシステムに発展している。

BCPの策定は、災害から組織を守るためだけではなく、取引先や市場からの評価が向上するなど、企業にとってさまざまなメリットがある。また、地域経済を守り、地域の雇用を守ることに繋がると考える。そこで、BCPに対する認識と、市内の企業に対するBCP策定への支援について伺う。

市内の事業所に発信し、普及に努める

市長

企業がBCPを策定する

ことは、事業の継続・早期復旧に向けた取り組みに迅速に対応でき、市場の信用の維持・向上にもつながるなど、さまざまなメリットがあると考えます。

本年度、伊東商工会議所において、市内の事業所を対象にBCP研修会を開催しており、今後、伊東商工会議所と連携し、静岡県等の推進事業を紹介するなど、BCP策定の意義や必要性を市内の事業所に発信し、その普及に努めていきたい。

『その他の質問項目』

■BCPについて

■自治体BCPについて

■地籍調査の実施状況について

四点



伊東商工会議所

※BCP（Business Continuity Plan）は、シナシスコンティニュエティプランの略で、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃等の緊急事態に遭遇した場合、損害を最小限にとどめ、事業の継続・早期復旧を可能とするため、平常時に行うべき活動や、緊急時の事業継続のための方法、手段等を取り決めておく計画をいう。

新市民病院での一七診療科目設置に向けた医師、看護師確保の状況について伺う



正風改革クラブ
榎本元彦議員

新市民病院は、高度救急医療の提供に向け施設の充実が図られているが、市民の信頼を得、質の高い医療を提供するためには、マンパワーが必要である。

そこで、一七診療科目の設置に向けた医師、看護師確保の状況について伺う。

市長

平成二四年二月現在、医師は五八人、准看護師も含めた看護師は一三三人であるが、新病院開院時までに、それぞれ六五人、一八一人に増員する予定である。現在、医師の確保は順調

に進んでおり、新年度からは新たに泌尿器科を開設する方向で整備を進めている。また、看護師についても、市民病院が実施している看護学生への奨学金制度に加え、看護学校等への積極的な訪問、潜在看護師の発掘、看護助手等の活用などにより、雇用確保につながるものと考えている。

『その他の質問項目』

■新市民病院に関し

ほか三点

■地上デジタル放送完全移行後の状況及び難視世帯への対策について

■本市競輪事業の今後の見通しについて

■本市道小原・田代線の整備予定について

■本市の教育について

■本市の教育について

■本市の教育について



新市民病院建設現場

よりよい病院運営に向け、市民病院、地域の診療所、市民の三者による協議機関設置の必要性について



重岡 秀子 議員
(会派に所属していない)

多くの自治体病院が赤字を抱え、医師不足や看護師不足による医療現場の激務など、地域医療をめぐる問題は深刻であり、さらに市民病院においては、二十四時間三六五日、救急医療を行っていることから、一層の過重労働を招いている。このため、市民が医療問題や市民病院の現状、第二次救急病院としての役割を理解し、市民病院と地域の診療所がそれぞれの役割を担い、市民と信頼関係を構築していくことが重要であり、この三者で協議する機関を設置すべきと考えられているが、

病院運営に関する意見交換

や協議する場のあり方について、今後、検討していく

市長

新病院開院後においても、病院運営の実績や議会における議論、市民からの意見を踏まえ、これまで以上に開かれた病院とし、地域の医療需要にこたえていくため、病院運営に関する意見交換や協議をする場のあり方について、今後、検討していく。

『その他の質問項目』

■新市民病院に関し、今後取り組むべき課題について

ほかに
■高齢者用肺炎球菌ワクチン接種に係る助成をすべきと考えるが、いかがか



現市民病院

常任委員会だより ~委員会審査の中から~

◆詳細は、市議会会議録の委員会審査報告をごらんください。
◆市議会会議録は、市役所、図書館、各コミュニティセンターにあるほか、ホームページでもごらんになれます。

総務委員会

問

伊東創造大賞の内容について伺う。

答

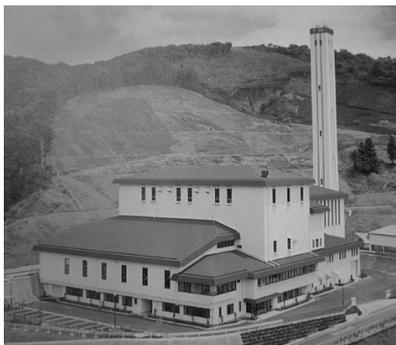
平成24年度は、子育て支援をテーマとし、夢部門と現実部門について、9月ごろから、広く市民からの提案を募集し、「いとうの日」にちなんで、1月10日前後に市民にも参加いただきながら審査し、表彰したい。

問

環境美化センター更新改良整備事業の進捗状況について伺う。

答

現在、建築確認申請、廃棄物処理施設の設置届など各種許認可手続等、関係書類の準備を進めている。



環境美化センター

観光建設委員会

問

伊豆半島ジオパークの商標登録を行う考えは。

答

伊豆半島ジオパークと伊豆ジオの2種類の商標について、それぞれ5分野の登録を予定している。



伊豆半島ジオサイトの一つである城ヶ崎海岸

問

観光イベントの評価方法について伺う。

答

観光客の意見を直接反映できるよう、今後検討していきたい。

問

都市型の集中豪雨への対策について伺う。

答

市街地においては時間雨量50mmにも耐えられるよう、舗装整備とあわせ側溝整備を推進していく。

福祉文教委員会

問

敬老事業の実施状況を問う。

答

助成要件の拡充に伴い参加者が増加しているが、今後も、地域等への積極的な説明を通じて、市内全域における実施を目指していく。

問

市立保育園の民間委託などを含む具体的計画を問う。

答

ガイドラインでは平成23年度から富士見保育園を指定管理者へ移行するとしていたが、同園は、さくら保育園と一体的な運営をしており、さくら保育園が専門機関と連携した養育の拠点として確立されていることから、現時点では、公立での存続が望ましいと考えている。



さくら保育園

市議会内の会派構成

(◎=会派代表者、会派構成議員は議席順)

■正風改革クラブ

浜田修一郎 議員
榎本 元彦 議員
佐山 正 議員
井戸 清司 議員
佐々木 清 議員
西島 彰 議員
◎宮崎 雅薫 議員
土屋 進 議員

■公明党

◎鳥居 康子 議員
長沢 正 議員
楠田 一男 議員

■民主党・刷新の会

四宮 和彦 議員
◎鈴木 克政 議員
浅田 良弘 議員

■輝21

◎稲葉 正仁 議員
稲葉富士憲 議員
三枝 誠次 議員

■伊東元気の会

◎横沢 勇 議員
杉本 一彦 議員

□いずれの会派にも属していない議員

掬川 武義 議員
重岡 秀子 議員
森 篤 議員

特別委員会設置



3月定例会において
特別委員会が新たに設置されました。

議会改革特別委員会（委員定数10名）

■付議事項

地域主権時代に対応した議会機能の充実についての調査・研究

■構成委員

委員長 三枝 誠次 議員
副委員長 鈴木 克政 議員
委員 宮崎 雅薫 議員 佐々木 清 議員
佐山 正 議員 鳥居 康子 議員
長沢 正 議員 四宮 和彦 議員
杉本 一彦 議員 森 篤 議員



傍聴席から見た本会議の様子

議会を傍聴してみませんか？

市政に対する真剣な議論や、あなたが貴重な一票を投じた議員の発言などを直接ごらんになってみてはいかがでしょうか。
傍聴席入り口で記名等をしていただくだけの簡単な手続で傍聴することができます。

編集後記

冬将軍が去り、里山の草木に草花が咲きほころび、何やら気持ちまで和らぐ季節となりました。

市議会では、議会改革特別委員会が設置され、議会機能の充実について調査・研究することとなりました。

春の訪れとともに、市民の皆様にも明るい話題が芽吹くよう、市議会としてもその役割を十分に果たすべく努めてまいりたいと思います。
(委員長)

議会報編集委員会

委員長 三枝 誠次
副委員長 榎本 元彦
委員 長 沢 正
" 四 宮 和彦
" 杉 本 一彦

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ
伊東市大原二丁目一番一
TEL (三三) 一九八一
FAX (三八) 六九一六

6月定例会の予定

(いずれも午前10時から始まります。)

6月	14・15・18日	本会議（一般質問）
	19日	本会議（議案審議）
	20日	常任観光建設委員会 常任福祉文教委員会
	21日	常任総務委員会
	27日	本会議（最終日）

※ 6月上旬の議会運営委員会において正式に決定します。